

# おだか

第 3 3 号

2 0 1 5

平成 27 年 3 月 12 日 (木)

南相馬市

小高小学校

学校だより

## おはなしの部屋フィナーレ



キャスト&スタッフのみなさんのカーテンコール

4日(水)は、今年度最後の「おはなしの部屋」が行われました。今回は、恒例の「アニマル劇場」の後、「へびのせんせいとさるのかんごふさん」のお話を、スタッフの皆さんがとび出す絵本 2015 バージョンで、演じてくださいました。

低学年向きの内容のようで、「子どもたちは退屈しないだろうか。」との心配もあり、高学年の様子を見せていただきました。しかし、子どもたちは、くいつくようにアニマル劇場を見ていました。高学年になってやや恥ずかしいのか、リアクションは小さいものの、アニマルたちのおしゃべりと、小さい写真に引きつけられている様子が伝わってきます。「へびのせんせいとさるのかんごふさん」のとび出す絵本でも、ひややかな態度を装いつつも、口元や目を見るとそうでもなく結構楽しんでいるのが分かります。笑い声も周りを気にしてひかえめではありましたが、リラックスして過ごしていました。



今年も活躍したアニマルたち

これは、内容はもちろんですが、キャストやスタッフのみなさん自身が、はつらつと楽しんで演じていることが大きな理由だと思います。それが、伝わっているから、子どもたちも心がゆったりしており、また、子どもたちのよいモデルともなっていると感じました。

小高小では、来年も引き続き「おはなしの部屋」のみなさんにおいでいただくように企画しています。さらに、バージョンアップしたお話が聞けるのを楽しみに待ちたいと思いました。



代表して、お礼の言葉を述べる清信さん

# バイキング給食



4～6年生の様子

10日（火）は、バイキング給食を行いました。子どもたち全員が会食できる広い教室がないので、低学年は2年生の教室で、3～6年は多目的室を使って会食しました。

バイキング給食のねらいは、2つあります。まず、子どもたち同士や先生方との交流を深めて会食を楽しむこと。もうひとつは、バイキング形式による食事を体験させることです。

バイキングでは、自分の好きなものを好きなだけ食べることができます。しかし、自分が食べられる量や友だちのことも考えて、多くを取り過ぎないことや、バランスを考えて

好きな食べ物だけ食べないということが大切です。

子どもたちはやがて自活することになります。食生活について、自分で自分を律することができるかどうか、健康につながる大切な要素です。震災後、肥満児童の増加が福島県で大きな課題となっており、本校でも同様の傾向がみられますので、自分を律する力もつけたいところです。

ともあれ、大勢の友だちと囲む食卓は楽しく、お腹いっぱいになったバイキング給食でした。



1～2年生の様子

3月11日は、東日本大震災が起きた日です。今年で4年目を迎えた昨日は、記憶を風化させないためのさまざまな催しが各地で行われました。

## 東日本大震災 3.11によせて

本校は現在も避難中であり、小高区での自校再開もままならない状況ですが「家族愛」や「生命の尊重」「勤労・奉仕」など、復興のバネとなる心の授業として、道徳をこの時期に合わせて行いました。そして、当日の午後2時46分には、子どもたちと共に、サイレンに合わせて黙祷を捧げました。復興は道半ばですが、震災の経験と教訓を、次代を担う子どもたちのためしっかりと継承し、未来を見つめて着実に進んで行こうとするたくましい子どもを育てて生きたいと思えます。

## 修・卒業式の練習始まる



仮設体育館で、はじめての練習

今日から、練習が始まりました。今年は仮設体育館での式になり子どもたちもやや緊張気味です。「門出の言葉」の練習を中心に行い、はっきり、しっかり言葉を伝えることを心がけて、子どもたちはがんばりました。